



# 映画『第九条』上映会

## ストーリー

20XX年、時の政府は日本国憲法第九条の改正の検討に入った。国民の意思を聞くため、諮問委員会を様々な職種の20代の若者12人のメンバーで作った。弁護士で九条破棄派の秋葉(南圭介)、国際ボランティアNPO法人で海外での活動から九条維持派の五井(タモト清嵐)、ニートで人の意見に流される岩間(聡太郎)等、それぞれの立場で第九条の議論を重ねて行く。最初は議論することを疑問視するメンバーであったが、日本国憲法成立の歴史を知り、少しずつ議論を重ねて行き、それぞれが日本の未来を真剣に考え、自分の思いを吐露して行く。

果たして、激しい意見の格闘の末、彼らの出した結論は？日本の運命はどうなるのか？

日時: **3月4日(土) 14時~16時30分** (開場 13時30分)

上映時間78分、上映後感想等を話し合う交流会を開催

場所: **上宮川文化センター 3Fホール**

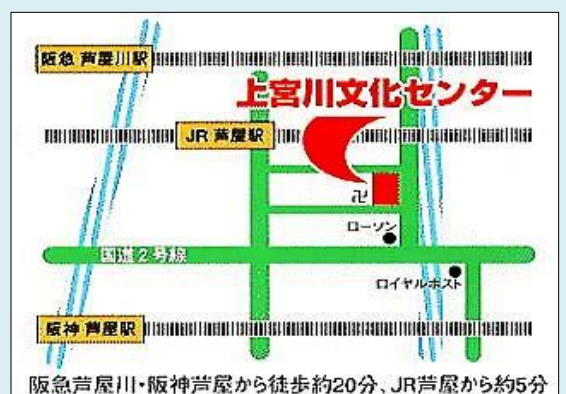
芦屋市上宮川町10番5号

参加協力費: 500円 (学生無料)

主催 **芦屋「九条の会」**

お問い合わせ ☎090-7118-2312(片岡)

ホームページ <http://ashiya9.web.fc2.com/>



無作為に集められた

12人の若者

終焉

させるには

全会一致

## 隠された真実に真正面から挑んだ問題作

安倍首相が憲法改正の意思を明確に示している今の日本社会に、痛烈なる一撃を加える衝撃の映画が誕生した。タイトルそのままに日本国憲法第九条に真正面から挑んだ力作。どのような成り立ちでこの条文が出来たのか？大東亜戦争、日本国憲法成立の歴史、朝鮮戦争、米ソ冷戦、沖縄の米軍基地問題、拉致、核など、多角的に九条の存在に切り込む。果たして、日本国憲法第九条は維持すべきか？破棄すべきか？ハリウッド不朽の名作『12人の怒れる男』のごとく12人の若者が熱い議論を交わす。その12人の若者には、弁護士役として議論を取り仕切る、ドラマ映画で数多く活躍する南圭介のほか、主演映画「U-31」が話題の馬場良馬、NHK大河ドラマ『葵 徳川三代』千代松役で注目を浴び、以降、その卓越した芝居で多くの作品に参加するタモト清嵐。特命戦隊ゴーバスターズと魔法戦隊マジレンジャーの両作品にヒーローとして出演した松本寛也、仮面ライダーゴースト、ジャベル役で注目を浴びる聡太郎、2.5次元ミュージカル界を牽引する荒牧慶彦ら、人気実力を兼ね備えた俳優陣が共演する。



- ・約40年憲法学者をやっているが、お手本にしたい位、内容がまとまっている作品。素晴らしい！  
(憲法学者・弁護士 小林節さん)
- ・「護憲映画」「改憲映画」の枠を破って、若い世代のホットな議論を投げかけ、映画の続きで討論ができそう。  
(世田谷区長 保坂展人さん)